

## 第7章

# 計画の推進・進行管理

## 第1節 推進体制

### (1) 推進体制

市民・事業者・行政の適切な役割分担のもと、協働により取り組みを進めていくことが重要であり、三者が発信する情報を相互に受信し、その情報が行動に繋がるような関係を三者で構築します。

また、本計画に掲げる施策は本市の行政全般に関わるものであり、計画の推進のためには全庁的な取り組みが必要です。庁内における横断的組織により、本計画に基づいて実施される庁内各部局の各種事業の進行状況に関する情報を収集・点検するとともに、計画の効果的な推進に向けて連携・強化を図ります。

さらに、地球温暖化対策等地球規模での取り組みや、河川の水質保全等は近隣自治体等も含めた広域的な連携・協力が必要なため、国や県、近隣自治体等との協力・連携に基づきながら施策の推進を図ります。

### (2) 見直し

取り組みの指標や削減目標については、社会状況や本市の環境状況の変化、進捗状況等を踏まえて中間見直しを行います。

### (3) 公表

温室効果ガス\*排出量や取り組み指標の進捗状況については、報告書を作成するとともに取り組みに関する情報等は、市ホームページ等により公表します。

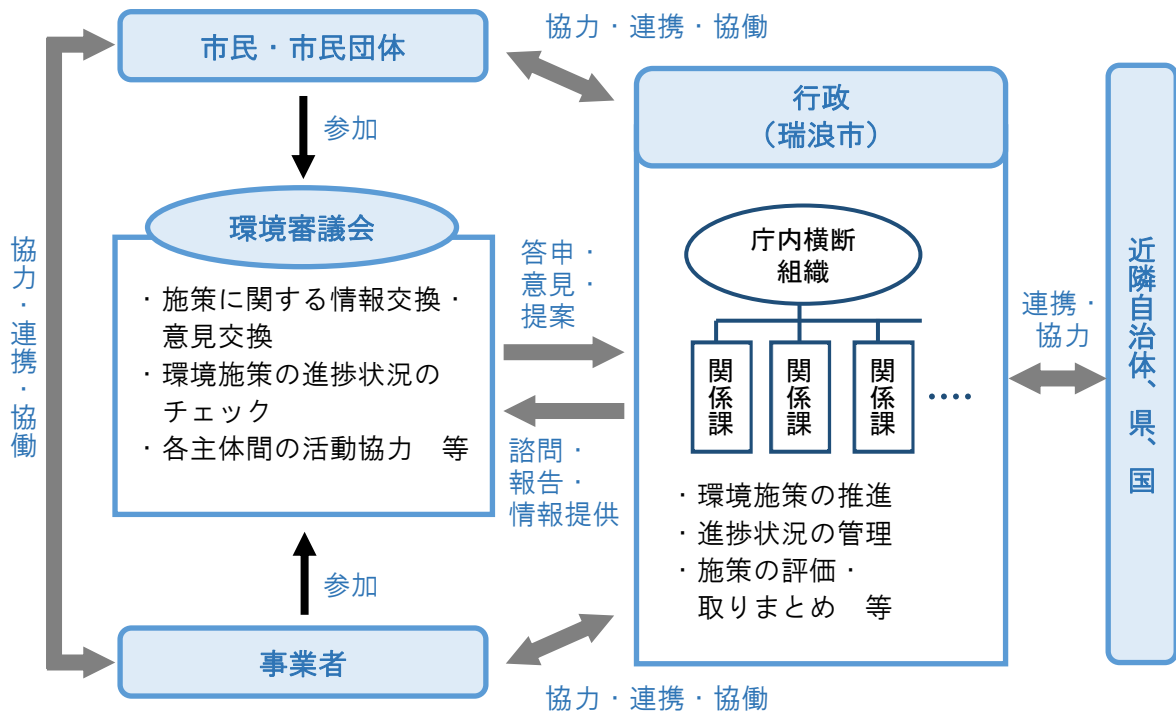


図 7-1 推進体制図

## 第2節 進行管理

本計画に掲げた環境保全の取り組みを市民、各種団体、事業者と連携・協力して進めるため、市民、事業者、行政で構成する環境審議会を定期的に関き、計画に基づく施策及び指標の進捗状況等を点検・評価し、市に対して意見や提言を行うなど、市民との協働による進行管理の開かれた場とします。さらに、市民・事業者からいただいた意見・提言を受けて対応を検討し、計画の推進に反映させるとともに、必要に応じ施策や指標等についても改善・見直しを図ります。

また、市民・事業者・行政の相互連携により検証及び改善を行う、PDCA(Plan(計画)-Do(実施)-Check(検証)-Action(改善))サイクルを向上(スパイラルアップ)させ、計画の継続的な改善を進めていきます。

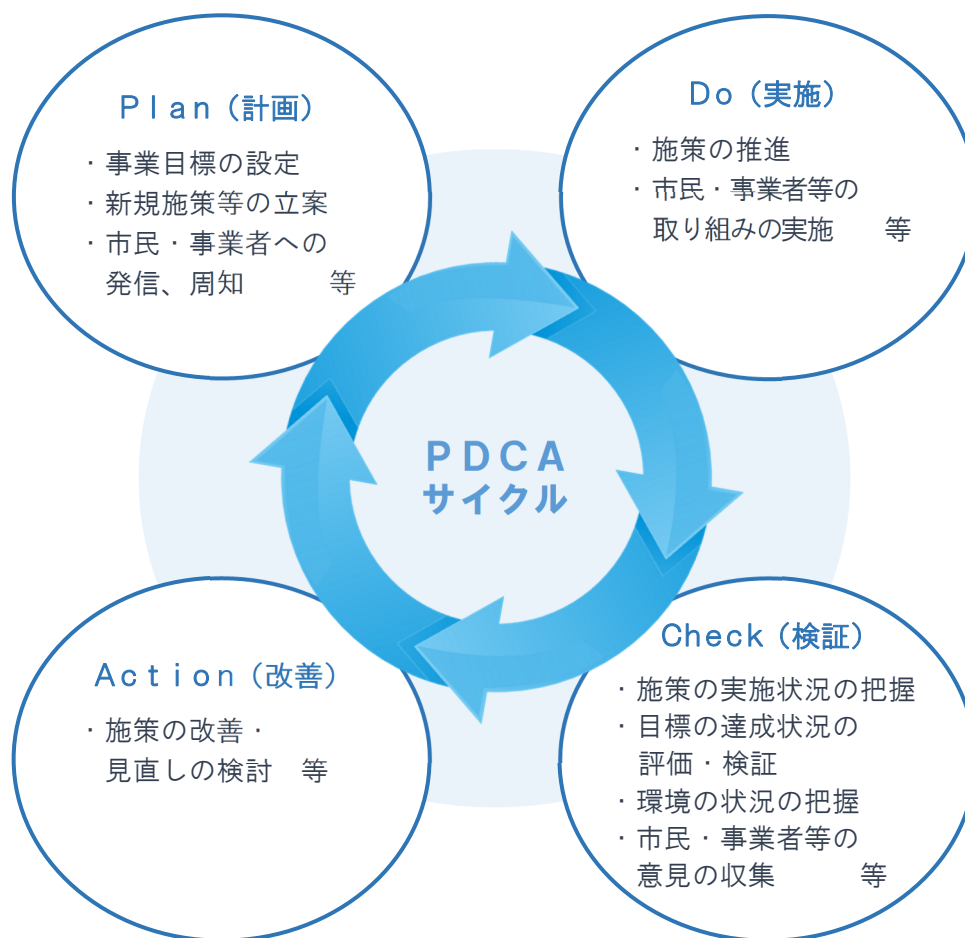


図 7-2 進行管理におけるPDCAサイクル

## 第3節 市民・事業者による環境保全の推進

### (1) 各主体の役割

#### 市民

- 日常生活において、環境の保全と創出に積極的に努めるとともに、環境への負荷を少なくするよう努めます。
- 日常生活から排出される廃棄物の減量と分別、生活排水の改善に努めるとともに、省エネルギーとリサイクル\*を推進するなど資源を有効利用するよう努めます。
- 市が実施する環境の保全と創出に関する施策に協力します。

#### 事業者

- 事業活動において、公害の発生抑制に努めるとともに、環境保全のため、自らの負担において必要な措置を講じます。
- 事業活動に関する製品、原材料その他の物を使用、廃棄することによる環境への負荷を少なくするよう努めるとともに、省エネルギーとリサイクル\*を推進するなど資源を有効利用するよう努めます。
- 事業活動を行うことに伴う環境への負荷を少なくすること及び省エネルギーとリサイクル\*を推進するための業務を管理する責任者を設置するよう努めます。
- 事業活動を行うときは、環境の保全と創出に自ら努めるとともに、市が実施する環境の保全と創出に関する施策に協力します。

#### 行政

- 環境の保全と創出を図るため、次に掲げる施策を総合的かつ計画的に推進します。
  - ① 森林の保全と活用、河川・湖沼等水辺環境の保全、緑化の推進、自然保護等自然環境に関すること
  - ② 公害の防止、廃棄物の削減・適正処分と再利用、省資源、歴史的文化的資産の保存、景観の保全、快適な居住環境の整備等生活環境に関すること
  - ③ 省エネルギー、再生可能エネルギー\*の導入を通じた、地球温暖化の防止等の地球環境に関すること

## (2) 市民、事業者の取り組み

### 市民の取り組み

#### 基本目標 1

森林や里山、農地を適切に管理・活用することで豊かな自然と多様性を確保します

- 食品を購入する際は、地元の農作物や地元食材を用いた商品を積極的に選択しましょう。
- 食育を通じて、子どもたちに地元の農作物の美味しさを教えましょう。
- 農林業体験や土岐川河川清掃、松野湖クリーン作戦等の環境保全活動に積極的に参加しましょう。
- 住宅を新築・改修する際は、地場産材を活用した木造建築を検討しましょう。
- 地域の生態系を理解するため、生物調査等に参加・協力しましょう。
- 動植物をむやみに捕獲・採取したり、傷つけたりしないようにしましょう。
- 外来種をはじめ動植物（移入種）の持ち込み等、生態系を乱すような行為はやめましょう。
- 自然観察イベントや自然体験学習等に積極的に参加し、市の自然環境への理解を深めましょう。

#### 基本目標 2

日常生活や事業活動における環境配慮と資源の有効利用を通じて身近な生活環境を維持します

- ごみや資源物は市で決められた収集日を守り、決められた方法に従って排出しましょう。
- 4 R \*について理解を深め、家庭ごみは適正に処理しましょう。
- 買い物の際は、簡易包装商品を選択したり、マイバッグを持参してレジ袋の利用を控えたりしましょう。
- マイ箸、マイボトル、マイカップ等の使用に努めましょう。
- 家庭から出る調理くずや食べ残し等の生ごみを減らしましょう。
- 家庭から出る生ごみは、生ごみ処理機や生ごみ堆肥化装置（コンポスト）を活用しましょう。
- 地域で行われる廃品回収や集団資源回収に協力しましょう。
- 不用なものでもまだ使えるものは、フリーマーケット等に提供しましょう。
- 「家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）\*」により資源回収が義務づけられている冷蔵庫やエアコン等は、適切に処分しましょう。
- 下水道への接続や合併処理浄化槽の設置・維持管理に努めましょう。
- 土岐川河川清掃、松野湖クリーン作戦に積極的に参加しましょう。
- 減農薬・減化学肥料や有機農業でつくられた作物を積極的に選択しましょう。
- 樹木の剪定枝等を堆肥化したり、除草剤等の使用を必要最小限に抑えましょう。
- 家庭でのピアノやカラオケ等は、近隣に迷惑をかけないように、時間帯や音量に配慮しましょう。

### 基本目標3

身近な緑の創出とマナーの順守、歴史・文化を継承し、誇れるまちづくりを進めます

- 中山道等の文化資源や文化財等に対する理解を深め、保全意識を持ちましょう。
- 郷土の歴史や文化、美濃源氏七夕まつり等の祭りに対する理解を深め、積極的に参加・協力しましょう。
- 陶磁器産業をはじめとする郷土の伝統産業に関心を持ち、地域文化の振興に協力しましょう。
- 花を植えるなどして、生活に潤いをもたらしましょう。
- 生け垣の設置・整備に努めましょう。
- 家庭において緑のカーテンを実践しましょう。
- 市内の公園や広場等のまち美化活動に参加し、身近な公園や広場等の緑化・美化活動に取り組みましょう。
- 不法投棄を見つけた場合は、速やかに市や関係機関に連絡しましょう。
- 空き家・空き地の所有者は、除草や散乱ごみの防止、安全管理等、適正管理に努めましょう。
- たばこの吸い殻や空き缶等のポイ捨てはやめましょう。

### 基本目標4

高効率化による省エネと再エネ導入・活用を通じて、地球温暖化対策と暮らしの利便性・事業の生産性向上の両立を図ります

- クールビズ・ウォームビズを取り入れ、エアコンの適温管理に努めましょう。
- 照明や家電製品等は、使わない時はこまめに電源を切ったり、コンセントを抜きましょう。
- 冷蔵庫やエアコン等の家電製品を買い換える際は、省エネラベルを確認し、省エネ効果の高い製品を選択しましょう。
- 照明は、省エネ効果の高いLED\*へ切り替えましょう。
- HEMS\*やスマートメーター\*を活用して、日常生活における電力やガスの使用状況を把握し、省エネルギー活動の参考にしましょう。
- 住宅への再生可能エネルギー\*（太陽光発電等）、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム\*（エネファーム）の導入を検討しましょう。
- 住宅の新築・改築にあたっては、ZEH\*をはじめ、高断熱・高気密な住宅を検討しましょう。
- 自動車を購入する際は、電気自動車や燃料電池自動車\*等の次世代自動車を選択しましょう。
- 自動車を運転する際は、アイドリングストップ等燃費効率のよいエコドライブ\*を心がけましょう。
- 近距離の移動の際は、徒歩や自転車を利用しましょう。
- バスや電車等の公共交通機関の利用を心がけましょう。

## 基本目標5

誰もが環境教育・環境学習を受けられる機会の創出と  
各主体が協力した仕組みづくりを行い、参加と協働を促進します

- 家庭で環境保全や地球温暖化について話す機会を設けて、家族みんなで日常的な環境保全活動に取り組んでみましょう。
- 環境フェアみずなみや環境保全に関する出前講座、講習会等に積極的に参加しましょう。
- 土岐川河川清掃、松野湖クリーン作戦をはじめ、地域で行われる清掃活動や里親制度等に積極的に参加しましょう。
- 環境保全活動を行う団体や岐阜県、瑞浪市等が行う活動への参加と協働に努めましょう。

### 基本目標 1

森林や里山、農地を適切に管理・活用することで豊かな自然と多様性を確保します

- 飲食店等では、地元の農産物を積極的に取り入れましょう。
- 農業従事者は、有機農業等の環境負荷の少ない農業に取り組みましょう。
- 瑞浪市が策定する森林整備計画に基づき、積極的に森林整備に協力しましょう。
- 森林や里山整備等の環境保全活動に積極的に参加しましょう。
- 地場産材を用いた建物の建築や製品開発を検討しましょう。
- 開発事業を行う際は、鳥獣保護区や特別緑地保全地区等の地域指定の規則に従うとともに、生態系等への負荷を抑制した計画的な事業活動に努めましょう。
- 自然観察イベントや自然体験学習等に積極的に協力・参加しましょう。
- 土岐川河川清掃、松野湖クリーン作戦等の環境保全活動に積極的に参加しましょう。

### 基本目標 2

日常生活や事業活動における環境配慮と資源の有効利用を通じて身近な生活環境を維持します

- 事業系ごみは決められた排出ルールを守り、排出者の責任において適正に処理しましょう。
- 飲食店や食品加工場等では、メニューや調理方法の工夫により、調理くず等の生ごみ、使い切れない食品や残飯等の食品ロスの減量化に努めましょう。
- 生ごみが発生する場合は、堆肥化やバイオマス利用等の有効活用を検討しましょう。
- 卸売り・小売業では、商品の簡易包装や梱包材等の発生抑制に努めましょう。また、消費者へ、マイバッグ利用を呼びかけましょう。
- 建設業では、建設発生土の有効利用や建設発生木材等の再資源化を推進しましょう。
- 農林業に伴う剪定枝等や使用済み農業用ビニール等は適正に処理しましょう。
- 産業廃棄物は、適切な許可業者に処理・リサイクル\*を委託するなど、適切に処理しましょう。
- 事業所からの排出ガスの適正処理や粉じんの発生抑制に努めましょう。
- 事業活動に伴う排水は敷地内において適正に処理し、基準値を超えないようにしましょう。
- 開発工事に伴う土砂の流出を防止しましょう。
- 家畜等のふん尿は、適正に処理しましょう。
- 土岐川河川清掃、松野湖クリーン作戦等の環境保全活動に積極的に参加しましょう。
- 農薬や化学肥料等は適正に使用するとともに、減農薬、減化学肥料栽培に努めましょう。
- 「騒音規制法」や「振動規制法」に基づき、工場や事業所から発生する騒音・振動の抑制に努めましょう。
- 深夜営業等を行う際は、「騒音規制法」を順守し、近隣に迷惑をかけないように配慮しましょう。
- 工場や事業所、畜産農家では、「悪臭防止法」を順守し、発生防止に努めましょう。



### 基本目標3

身近な緑の創出とマナーの順守、歴史・文化を継承し、誇れるまちづくりを進めます

- 建築物の建設において、周辺環境との調和や適正な土地利用に留意しましょう。
- 地区計画制度や建築協定、緑地協定等の活用に努めましょう。
- 屋外広告物についてはまちなみを損ねることがないように、適正な場所に設置しましょう。
- 事業所敷地内の緑化に努めましょう。
- 開発事業を行う際は、埋蔵文化財や化石等に留意し、必要に応じて調査に協力しましょう。
- 郷土の歴史・文化に関する資料調査や収集、化石の採掘等に協力しましょう。
- 郷土の歴史や文化、美濃源氏七夕まつり等の祭りに対する理解を深め、積極的に参加・協力しましょう。
- 地域で行われる一斉清掃等の活動に積極的に参加しましょう。
- 市内の公園や広場等のまち美化活動に参加し、身近な公園や広場等の緑化・美化活動に取り組みましょう。
- 事業所敷地内は除草や散乱ごみの防止、安全管理等適正管理に努めましょう。

### 基本目標4

高効率化による省エネと再エネ導入・活用を通じて、地球温暖化対策と暮らしの利便性・事業の生産性向上の両立を図ります

- クールビズ・ウォームビズを取り入れ、エアコンの適温管理に努めましょう。
- コピーやパソコン等のO A 機器は、昼休み等長時間使わない際はこまめに電源を切りましょう。
- 設備の設置、更新に際しては、エネルギー効率の高い設備の導入に努めましょう。
- 照明は、省エネ効果の高いLED\*へ切り替えましょう。
- BEMS\*やFEMS\*、スマートメーター\*を活用して、製造工程における不要な動力や熱の使用、照明等がないか、エネルギーの使用状況を見直しましょう。
- 建物を建設・更新する際は、再生可能エネルギー\*（太陽光発電等）や蓄電池、エネルギーの高度利用技術（ヒートポンプ、燃料電池等）の導入に努めましょう。
- 事業活動における再生可能エネルギー\*や水素等の環境負荷が小さいエネルギーの利用を選択しましょう。
- 施設を新築・改築する際は、ZEB\*をはじめ断熱化等の導入を検討しましょう。
- 省エネルギー診断\*の活用やESCO事業\*の実施を検討しましょう。
- 自動車を購入・更新する際は、電気自動車や燃料電池自動車\*等の次世代自動車を選択しましょう。
- 自動車を運転する際は、アイドリングストップ等燃費効率のよいエコドライブ\*を心がけましょう。
- 環境報告書を作成するなどし、省エネルギー活動やその取り組み結果を積極的に公表しましょう。
- グリーン電力証書\*を活用するなどし、事業活動に伴う電力のグリーン化を進めましょう。
- ISO14001\*やエコアクション21\*等による環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷の少ない事業活動に取り組みましょう。
- カーボンオフセット\*によるサービスや商品の提供に努めましょう。

## 基本目標5

誰もが環境教育・環境学習を受けられる機会の創出と  
各主体が協力した仕組みづくりを行い、参加と協働を促進します

- 瑞浪商工会議所や業界団体等の企業・事業所の連携・交流組織を通じて、他社や他業種との情報交換や交流を深め、環境保全の取り組みを活性化させましょう。
- 環境フェアみずなみや環境保全に関する講習会等に積極的に協力・参加しましょう。  
経営者は、社員の参加を奨励しましょう。
- 土岐川河川清掃、松野湖クリーン作戦をはじめ、地域で行われる清掃活動や里親制度等に積極的に参加しましょう。
- 環境保全活動を行う団体や岐阜県、瑞浪市等が行う活動への参加と協働に努めましょう。
- 環境保全活動の実施状況等を、ホームページや環境報告書等で広く公表しましょう。
- 研修会や講習会等の開催を通じて、地域コミュニティ等での環境保全活動の取り組みの輪を広げ、リーダーを養成・育成しましょう。
- 新たな環境技術に基づいた地域産業を育てるため、産学官共同による研究開発に努めましょう。